

2024 年 12 月 31 日

武蔵野 OGOB ロックフェス PMO

別紙 3

武蔵野 OGOB ロックフェスティバル 2024 の成果・効果

事業の柱	参加バンドの視点から ◇音楽活動の継続・質向上◇	実施団体の視点から ◇フェスティバルの財政的自立◇ ✓ バンド招集力の向上 ✓ 観客動員力の向上 ✓ 顧客単価の向上	武蔵野市の視点から ◇学びおくり、地域活動活性化◇
(1) 音楽活動の 発表と交流	・発表機会が得られた意義を評価、継続参加を希望	・事前広報等により新たなバンドを発掘し、バンド招集力向上 ✓ 本フェスで新たに 3 バンド参加 ✓ 来年度に参加希望ある 3 バンド発掘 ・本フェスを契機に、プロアマの新たなバンド「IRIE & Sound Chef」が組成され、来年度以降の観客動員力の向上に繋がる	・観客間の交流、バンド間の交流、観客・バンド間の交流による学びおくりの実現。地域活動活性化の繋がる可能性 ・新たな音楽活動コミュニティ「IRIE & Sound Chef」が誕生し、地域活動活性化に繋がる
(2) プロによる 演奏の学び	・コンテンツ力、演奏力を学ぶ	・石川浩司さんを例として、プロ招致による観客動員力の向上を確認	・プロのコンテンツ力、演奏力の学びおくり
(3) 音楽演奏の 体験	・他バンドとのセッションの楽しさを体験	・楽器貸与を受けバンドとの共同演奏に対する好評が確認され、観客動員力の向上に資する可能性を確認	・楽器の共同演奏の楽しさの学びおくりの実現

補足) 来場者アンケート(回答数 36 名、回答率 28%)では、全員が来年の開催を希望。理由は「音楽ジャンルのバラエティ」、「交流・コミュニケーション」、「アットホームで楽しい」、など。